

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



西門入口
のヒガン
バナ



☆☆☆ 運動会お世話になりました ☆☆☆

9/3(月)は、84名の子供たちの明るい笑顔が学校に戻ってきました。1人の事故やけががなく元気に夏休みを過ごせたことを、何よりうれしく思います。前期後半の始まりの全校集会を開きました。まず、2年生長谷さんと4年生佐藤さんの作文発表です。これから頑張りたいことや努力への決意が表れた立派な発表でした。次に、校長講話を行いました。1つ目は、「夏休み全校宿題」の話です。「読書3冊」「毎日お手伝い」「料理」は実践できたでしょうか？2つ目は、「ノートがんばり賞」の6人を紹介し、「とちぎっ子学習状況調査」の結果について話し合いました。

さて、22日(土)には、運動会を開催しました。今年も、暑い中での練習で、熱中症などが心配でした。暑さや雨対策など、練習時間の確保に苦慮しました。

当日は今年のスローガン『七色に輝け ぼくらの笑顔 平成最後の運動会』のとおり、子供たちは最後まで頑張り抜きました。特に10名の6年生は、小学校最後の運動会。自分の演技の他にも係活動や開閉会式などの代表を立派に務めることができ、大きな拍手をいただきました。きっと一人一人の心の中に忘れられない感動があり、これからの自信につながると思います。

保護者や地域の皆様には、最後の演技まで温かい御声援をいただき、また、PTA種目への参加や準備・後片付けなどの御協力を賜り、誠にありがとうございました。

夏休み前半の3日間、学習相談を開催しました。

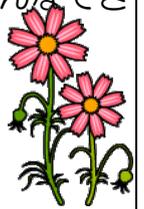
どのクラスでも真剣に取り組む姿が見られ、立派でした。保護者の皆様には、送迎の御都合を付けていただき、ありがとうございました。7/23は64名の参加でした。学力向上には、「授業の充実と毎日の家庭学習の積み重ね」が欠かせません。

さて、夏休みは「家庭学習4か条」を守って学習を進められたでしょうか？毎日の積み重ねは習慣化につながります。「学びの基礎」をつくるこの時期を大切にして、家庭学習の習慣作りをお願いします。「継続は力なり」

8/25(土)、親子奉仕作業を行いました。保護者53名、児童51名の参加でした。

お父さん、お母さんのお二人で参加して下さった方も7組ほどいました。とても助かりました。除草ボランティアの上野さん、小室さんにも手伝っていただきました。

お父さんたちは運動会で使うテントを立てた後、樹木伐採や除草。お母さんたちは除草や枝運び。校庭や花壇、畑などをみんなできれいにしました。子供たちも一緒にがんばって、除草や枝運び。学校がとてもきれいになりました。今年度2回目の御協力に感謝いたします。ありがとうございました。





感動の運動会をありがとう



22日（土）の運動会は、赤組627点、白組625点で赤組優勝という、最後まではらはらどきどきさせる展開となりました。「全員リレー」ではどのチームも1本のバトンを上手に渡し、全校生82名が一丸となって走り抜きました。最後まであきらめず全力で走る姿に胸が熱くなりました。

また、3～6年生による「組体操」、1～6年生による「全校ダンス」では、どちらも成功し力強い演技でした。今までの練習の成果を見事に発揮することができ、すばらしかったです。

7/11（水）は親子活動、自由参観、道徳授業参観、PTA研修会、学校運営協議会を実施しました。自由参観は38名、道徳授業参観はほぼ全員、PTA研修会は42名の参加者でした。うれしいことに、自由参観の参加者が去年よりとても増えました。



PTA研修会では、南河内中学区スクールカウンセラー人見薫先生から「いじめにかかわらない力を育てる」というテーマ



で講話をいただきました。大切なことは、「自分の言葉で表現できる力」「自分で決定する力」「人の話を聴く力」を育てること。具体的な話から、日頃のお子さんとの関わり方を見直す機会となったことと思います。「修正可能なら、失敗させる」「見守る」という言葉が心に残りました。

第2回学校運営協議会 開く

学校運営協議会は、保護者や地域住民と学校が学校教育目標や「吉田の良さを知り、ふるさとを愛する子供たち・挨拶ができる子供たちを育てる」という目指す子ども像を共有し、一体となって子供たちを育てることを目指しています。

今回の学校運営協議会では授業参観後、学校の現状説明と感想や意見交換をしました。現状説明では、学校支援ボランティアが少しずつ増えつつあるが、さらに地域住民の協力をお願いしたい、縦割り班活動が充実し、高学年児童の自主性が伸びつつあることを話しました。意見としては、道徳授業での児童の机配置や保護者参加型授業など授業の工夫が見られる、学力向上には「読書」と「運動」の習慣化が大切、などが出されました。

今後も、学校行事などで、子供たちの活動の様子を見ていただき、「地域とともにある学校」づくりを目指していきます。

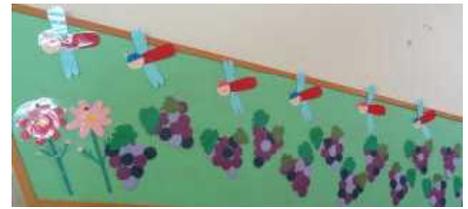


学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



図書室
掲示物



☆☆ がんばった夏休み全校宿題 ☆☆

夏休み前に学校として取り組む「全校宿題」を出しました。42日間の夏休みを充実させ、家族の一員として働く子になってほしいからです。御協力ありがとうございました。感想などを一部紹介します。

①読書3冊以上

・『日本の歴史』関ヶ原で石田三成を破った徳川家康が、江戸幕府を開き平和な時代を作ったところに関心をもった。長崎から海外製品や文化が入り、全国に流通していく。昔の暮らしや出来事を知ることは楽しい。(6年I・R)

②手伝い…お風呂・皿洗い・靴揃え・玄関掃除・洗濯物たたみ

・玄関がきれいになると、すっきりして気持ちがいい。夏は靴がたくさんあって大変だった。(1年K・A)

・靴がきれいに並んでいると、玄関もきれいになります。毎日やるのは大変だったけれど、家族が喜んでくれて、うれしいです。(3年U・K)

③料理…カレー・餃子・目玉焼き・野菜炒め

・「スクランブルエッグ」フライパンにさわって、とても熱かったです。卵を割るのがむずかしかったです。おいしくできて、うれしいです。(1年U・M)

・「だんごづくり」むずかしかったのは、こねるところです。粉がお湯となかなか混ぜりませんでした。(3年S・K)

・「オムレツ」外がふわっとして、中がほくほく。とてもおいしかった。ケチャップを入れすぎて、味が濃くなってしまった。(6年N・S)

高齢者と心の交流を絵手紙で ～おたより活動～

本校の特色「おたより活動」は、今年で25年目になりました。この活動は児童の思いやりの心を育て、地域や高齢者を大切にするをねらいとしています。6年間、同じ高齢者にお手紙を届けます。

今年は7/19(木)に「絵手紙」に挑戦!「絵手紙サークル」の講師さん6名に、絵手紙の描き方を教わり、墨と筆で「線の練習」をした後、実際に葉書に絵を描きました。キュウリやカボチャの夏野菜など、各自が用意した描きたいものを、子供らしく、大胆かつ丁寧な線と色で彩色。高齢者の喜ぶ笑顔が目につかびます。



7/19(木)、4~6年生が「B&G水辺の安全教室」を行いました。4名の指導員さんから、水辺の安全に関する知識や水の事故を未然に防ぐ方法を教えていただきました。実際に、「背浮き」を練習し、「ペットボトル浮き」「ライフジャケット浮遊」を体験しました。吉東小は川が近くにあり、水の事故が心配です。プールや海など、安全に水遊びができますように。



目指せ 授業力 向上



夏休み前半は、教職員研修に取り組みました。日頃なかなかできない備品整理や除草作業、全国学力・学習状況調査結果の分析と対策、研究授業の指導案検討など……。それぞれの主任が中心となって計画・準備し、限られた時間と人数で作業や研修を進めました。まさに、「チーム吉東」の力。作業後や研修後の達成感と充実感で、汗も爽やかになりました。

本校では、毎年12月「学校評価保護者アンケート」を保護者の皆様をお願いしています。本校教育のより一層の充実のため、教育活動などについて御回答いただくものです。くわしい内容については、先日配付しました、「学校評価保護者アンケート協力依頼」を御覧ください。その一部を掲載します。御協力をお願いします。

学校評価保護者用アンケート

- 1 授業がわかりやすい。
- 2 学習することは楽しい。
- 3 読書が好きで、学校や家でよく本を読んでいる。
- 4 意見の違う友達とも仲よく、助け合うことができる。
- 5 学校に行くのが楽しく、安心して過ごしている。
- 6 将来の夢やなりたい職業がある。



☆☆『特別支援教育』コーナー No4 ～発達障害とは～☆☆

発達障害とは、生まれつきの脳機能の発達のアンバランスさ・凸凹（でこぼこ）と、その人が過ごす環境や周囲の人との関わりのミスマッチから、社会生活に困難が発生する障害のことです。人間誰しも、得意なことと不得意なことがあります。その中でも発達障害のある人は、得意なことと不得意なことの差が非常に大きかったり、他の多くの人と比べて違った物事の感じ方や考え方をしたりすることが多くあります。そのため、勉強や仕事の理解や進め方、注意の集中や持続の偏り、対人関係などのすれ違いが多くなりやすいのです。

発達障害を理解する上での難しさは、その障害が見た目からは分かりにくいことにあります。本人は悪気がなく行動したつもりでも、「衝動的でわがままだ。」「人の話を聞かない変わった人だ。」などと誤解を受けたり、「本人の努力不足」や「親のしつけの問題」などと誤った解釈や批判を受けたりすることも少なくありません。

だからこそ、本人と周囲の人がお互いの違いを理解しながら、凸凹ゆえの困難さが起こりにくくなるような環境を調整し、本人の得意な行動や特性を生かした生き方ができるような支援が必要なのです。

お知らせ：「吉田東小 学校だより」はホームページでカラー版を御覧いただけます。学校行事や各学年の活動も随時配信しています。御意見、御感想など御連絡ください。

吉田東小 住所：下野市中川島7 電話番号：0285-48-5007

吉田東小 ホームページ アドレス：<http://school.shimotsuke.ed.jp>

※QRコードからアクセス



